

令和6年度 第3回
藤沢市地域福祉計画推進委員会
議事要旨

日 時 2025年(令和7年) 1月9日(木)

午前9時30分から

場 所 藤沢市役所 本庁舎5階 5-1・2会議室

I. 開催概要

1. 日 時 2025年(令和7年) 1月9日(木) 9時30分～

2. 会 場 藤沢市役所 本庁舎5階 5-1・2会議室

3. 出席者

(1) 委員=21名

・会場出席者

石渡 和実、松永 文和、奥田 吉昭、杉山 雅子、戸高 洋充、
木村 依子、小山 八千代、吉田 厚治、山口 燿子、橋本 良子、
椎野 幸一、村上 尚、板原 直枝、佐藤 眞知子、津島 徹、松沢 邦芳

・オンライン出席者

濱田 登美、川辺 克郎、澁谷 晴子、沼田 純子

4. 議 題

1. 開 会

(1) 今年度の委員会のスケジュール・進め方について

【資料1】今年度の計画委員会の流れについて

(2) 次期計画改定に向けたアンケート調査の準備について

【資料2】次期計画改定に向けたアンケート調査の準備について

【資料3】藤沢市地域福祉に関するアンケート調査報告書

【資料4】前回アンケート項目表

【資料5】ヒアリングシート

(3) 地域福祉計画に関する普及・啓発について

【資料6】地域福祉シンポジウム企画案

【資料7】 地域福祉シンポジウムチラシ

【資料8】 地域福祉取組紹介パネル（案）

2. その他

- (1) 藤沢市議会令和6年12月定例会 厚生環境常任委員会への報告について
- (2) ケアをされる人もする人も自分らしい生き方ができる藤沢づくり条例について
- (3) 組織改正について

5. 閉 会

II. 会議の概要（議事要旨）

1. 開 会

事務局より挨拶の後、議事に入った。

2. 議 題

- (1) 今年度の委員会のスケジュール・進め方について

《資料1に基づいて事務局より説明》

《質疑応答なし》

- (2) 次期計画改定に向けたアンケート調査の準備について

《資料2～5に基づいて事務局より説明》

○石渡委員長

アンケート調査の対象を考えるヒントとして、藤沢は外国籍の人が多い地域はあるのでしょうか。

○事務局

北部地区は多いと感じております。

○板原委員

藤沢地区の場所によっては中国人の方が多いイメージです。言葉が通じないということですから喧嘩になってしまい、民生委員が道端で仲介することもありました。小学校では国際化クラスを設けて対応したり、地域の有志で言葉や生活の仕方についてサポートしているグループもありま

す。

○木村委員

北部は外国籍の方が多いイメージです。お父さん、お子さんは日本語を話すことはできますが、お母さんは母国語しか話せないご家族が多いように感じます。

○石渡委員長

お母さんは地域になじめないのではと感じました。教育も含めて事務局に準備していただければと思います。

○椎野委員

何をここで議論して結論を出すのかよく分からなかったのですが、事前資料に記載されている、新たに設ける設間は何ですかという質問があったがそれを今回議論するのではないのでしょうか。

○事務局

資料については、宿題ではなく前回実施時のアンケート調査意見シートになるため参考として、送付させていただきました。本日の会議では、今の時点で前回の調査票から更新してほしい事項があればご意見をいただければと思っております。

○椎野委員

アンケート回収率の目標を上げるべきなのではないのでしょうか。自治会加入率が藤沢市全体で50%を切る地区もあるが、アンケート調査の対象はどのように実施するのでしょうか。

○事務局

アンケートの対象者について、無作為抽出の4000人を対象で実施を想定しております。自治会に加入しているかどうかで選ぶことはございません。

○椎野委員

御所見では約100世帯が自治会を抜けてしまいました。アンケートの未加入者に配ったところでアンケート結果は得られないのではないのでしょうか。アンケートを回答してくれそうな人に届け

るべきではないでしょうか。

○事務局

アンケートの対象者をどういう風に抽出していくのかというのも検討していきたいと思えます。

○松永委員

資料2を基に説明をしていただきましたが、アンケート調査の視点について、委員会の中でどのくらい議論するかを考えると、前回の資料3と資料4を基に委員の皆さんが表現の修正や、追加すべき設問について議論をしていくべきなのかなと思います。

事前にどの辺を整理して、どの辺をポイントとしているのか、事務局としてあるのであれば提案をしていただければと思います。

○事務局

事務局のほうでも比較検討していきながら今後たたき台という形で提示はさせていただきたいと思えます。

○松沢委員

前回の会議で担い手不足について議論が盛んに起こりましたが、担い手自体いなければ育成もできないと思えます。ボランティアをする人の年代が上がってきたので、若い人たちに来ていただくには広報の方法も含めて来年度のアンケート調査の設問になるのではないかと。

○板原委員

過去にアンケートに答えた実感として、設問数等から考えると時間に余裕のある人が回答しやすいと思えます。

○佐藤委員

何を聞きたいか、わからないアンケートのように感じます。もう少しわかりやすいアンケートにするべきだと思います。私の地区だと高齢者の人数が減ってきている状況です。もっとストレートな聞き方にすることや、例えば、認知症になった人への地域での支えあいを考える設問等を設けても良いのではないかと。

○事務局

アンケートを回答しやすくするために、設問数の削減を検討することも解決方法の一つです。

また、前回調査時には地域福祉を説明する資料を送付しており、来年度実施する際も、地域活動に詳しくない人でもわかるように参考資料を送付すると考えております。

○奥田委員

自分たちの団体では病院への送迎を片道500円で行っております。こういうことをやっている団体への補助金も考えていただければと思います。

○椎野委員

アンケートは時系列的に見てどこの項目が良くなり悪くなったのか、時系列的に結果を出せると良いと思います。

○橋本委員

アンケートを自分事として思いを書けるようなものにしてもらえたらと思います。困りごとが選べて、自分が困っていることはこの分野というのが書けるアンケートだといいなと思います。

○杉山委員

アンケートのボリュームが多いと思います。アンケートに返答しませんという問いを設けて、アンケート調査票送ってもらえると今後のヒントになるのではないかと思います。

○村上委員

市が持っている統計的なデータで、何が課題で、どういう環境整備をしていかななくてはいけないのかわかると思いますので、整備していただいた上でアンケートをとる方がいいのではないかと思います。

○山口委員

このアンケートは外国籍の人にも行くのでしょうか。自治会加入率の話もあつたが、全国的に上がったという事例があれば教えて頂きたいです。自分が活動する際に、自治会に入らなくてもデメリットはないといわれてしまうことがある。善行地区では中学生の時から地域の行事に協力

してもらおうように促しております。長期的に考えた際に大事ではないかと思っています。

○事務局

住民基本台帳から抽出しているのも外国籍の方にも行く可能性はある。現時点ですぐにできそうなことは、属性のところで国籍のものも含めながらクロスさせる集計ができるのではないかと思います。外国籍の方だけ狙ってというのは現段階では難しいと考えております。

(3) 地域福祉計画に関する普及・啓発について

《資料6～8に基づいて事務局より説明》

○椎野委員

動員はどうするのでしょうか。しっかり周知しないと全然人が集まらないと思います。

○佐藤委員

民児協の定例会で出席するようにと動員はかけさせていただいております。今回のシンポジウムで民生委員がどういうことをしているのか一緒に展示させていただき、より一層PRさせていただきたいと思っております。

○椎野委員

このシンポジウムをチャンスに計画を浸透させるべきだと思います。

○戸高委員

チラシデータをいただければ団体等に共有をします。

○事務局

団体の取組紹介パネル展示スペースを作りたいと思っております。委員会後にチラシデータを送付したいと思っております。

○松永委員

取組紹介パネルには、QRコードをいれて詳しく見たい人向けに工夫をすることや、数字で訴えることや、これからが重要なんだというメッセージを入れられると良いと思います。常設できる

ところがあればお願いしたいです。

○吉田委員

第74回社会を明るくする運動とシンポジウムテーマの孤独孤立が関連しているため、可能であれば、保護司の取組もパネル展示していただきたいと思います。

○小山委員

青少年の引きこもりとかそういう問題もあるが、個人情報関係で現状が把握できず、そういう方が見つからないという課題があります。

3. その他

- (1) 藤沢市議会令和6年12月定例会 厚生環境常任委員会への報告について
- (2) ケアをされる人もする人も自分らしい生き方ができる藤沢づくり条例について
- (3) 組織改正について
 - 《事務局より説明》
 - 《質疑応答なし》

4. 閉会

事務局より来年度の案内をし、閉会。

以上